

UATH 年度方針書

2025（令和7年度）

UACJ 企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。



2025年3月31日

UATH 社長 山田 哲也

区分	内 容
ミッション 行動指針	◆ 企業理念の下、グローバルに戦える新たな技術の追求とモノづくりの力の伝承により、「タイのメンバーが誇りに思える企業」の実現を目指す ◆ 共通の目標・価値観の下、自ら考え、自ら行動し、自らを律する人々の集団を目指す ◆ 軽やかな世界の実現を目指し、果敢に挑戦する
基本方針 ／ 重点課題	<2025年度の基本方針> 第4次中期経営計画の目標達成に向けた行動と、VISION2030へつながる成長・価値創出拡大を推進する 1. 『UACJ板事業におけるASEAN地域の基幹工場』として、全社収益に貢献 2. タイ国におけるアルミニウムの循環型社会構築に向けた役割を果たす（特に静脈側機能の強化） 3. 需要変化に対応できる生産体制を、DXを活用して技術・製造・設備・営業・調達部門の連携で確立する <2025年度の重点課題> I. 安全・コンプライアンス・品質など、UACJとして当たり前の実践と深化 1. 「安全」が全てに優先する事を肝に銘じ、6大災害の撲滅に向けたハード・ソフト両輪の活動推進 (1) 設備本質安全化計画の着実な実行 (2) 規律正しい組織を目指したチームビルディング 2. 法規、客先との取決め、社内規則、行動規範等の遵守と、維持継続できる組織文化の醸成 3. お客様の満足と信頼を得る製品・サービスを目指した、迅速かつ継続的な取り組み II. VISION 2030へつながる成長・価値創出拡大と体質強化に向けた取り組みの着実な推進 1. リサイクル原料の安定確保の実現（コスト抑制含む）と、それを最大限に使いこなす技術の確立 2. 顧客や、顧客の顧客が目指す姿の実現に向けた積極的な提案、協業で「素材+α」を具現化する 環境配慮型合金の提案、PIRの推進、PCRの仕組構築等で、社会や顧客ニーズに応え、適正な価値を享受する 3. 生産管理（受注情報→製造→販売まで）の一元化により、需要変化に即応すると共に棚卸資産の削減につなげる 4. タイメンバー主体の会社運営を目指した個人の育成とチームビルディング 5. 環境負荷低減のための諸施策を推進する（*1 GHG排出量削減、廃棄物削減、水資源の有効活用など） *1: Scope 1,2合計 III. 第4次中期経営計画および2025年度計画の目標達成に向けた活動 1. 2025年度事業利益計画の必達（年間：11.5億THB以上、年度末ROIC：3.0%以上） 市場動向の的確な把握と迅速な対応 → 予算管理の精度向上と追加施策立案、実行につなげる 2. 年計販売量超え（年間33万t）達成とRM損益確保・改善 新製品認定作業の円滑な推進、販売サービス体制構築、適正コスト転嫁の継続的な実現 3. タイー日本2極互換性の強化による泰+日合計販売量の最大化（UATH：箔地量産化、缶材互換性拡大） 4. 北米情勢（関税、新工場稼働開始）を見据えた販売施策の推進（他地域での拡販推進） 5. 生産能力28,500ton/月相当（年間34万t）の安定量産化の確立、缶材生産能力25,000ton/月の確立 更には年間36万トン生産体制確立に向けた生産能力向上、品質向上、故障低減活動の推進 6. 品質・技術のレベルアップによる生産性・歩留の改善（年度末目標：184kg/M・Hr以上、63.7%以上） グローバルな競争力獲得に向け生産・品質・環境などの新技術開発・導入の推進 7. デジタル技術を活用した製造条件の最適化管理の実現、品質管理レベルの向上 8. キャッシュ創出（C1000）：生産計画の改善による棚卸資産の計画的な削減など資産効率化 （キャッシュ創出年度末目標：7,759百万円、CCC年度末目標：100日以下） IV. ウェルビーイング（いきがい・幸せ・調和）の実現を目指した個人の成長と組織の強化 1. タイメンバー主体の会社運営を目指した制度改革、個人の育成とチームビルディング 2. ものづくり学園・方針管理・U-KI等の取り組みも活用した個人の成長と組織力の強化 3. UACJウェイの浸透と実践により、DE&I（デ・ア・イ）が当たり前の風土へ 4. 海外拠点での経験を通じ、日本人ホワイトカラーの生産性向上の場とする 5. 地域社会への貢献を通じて、地域社会との信頼関係を更に強化し、持続的な発展につなげる